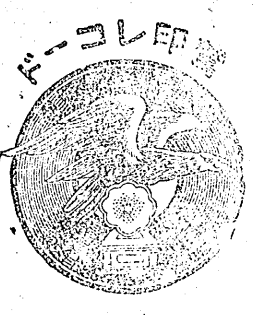


神戸海上運送保険株式會社
東洋海上火災保險株式會社
共保生命保險株式會社

平代 店
貨家部案内
柳町 八、五〇〇
白銀町 四、五〇〇
五丁町 同 〇〇〇〇
内郷村小島 同 〇〇〇〇
貸地部案内
平町 本丸、二ノ丸
同 八幡小路、同
同 八幡小路、同
柳町 同 八幡小路、同
四倉町 同 八幡小路、同
加藤營業所
白銀町 電話三三二番



正月の御用意には是非
今月より傑作揃の新譜
浪花節に音楽
陽氣に
小唄に民謡
おへんの宿替に
落語喜劇等
澤山人荷致しました

平町四丁目
會田時計店
電話三六三番

美術表具
玉成堂
平町二丁目
平銀行裏川岸通り

美術
平町紺屋町(縣社通り)
味の平食堂
オの部電話四六〇番

冬物荷揃特價大賣出し

大人メリヤス 六拾錢より
ボーイシャツ 三拾錢より
絹天女足袋 貳拾五錢
ワイシャツ 壹圓五拾錢
家庭別珍 貳圓五拾錢より
毛メリヤス 壹圓參拾錢

平町一丁目(電話六〇五番)
山家メリヤス店

平町紺屋町
藤沼醫院
電話五〇七番

年末年始の贈答には
アルミニウム食器を
關原商店
一丁目(電話五百六十番)

平町紺屋町
會田眼科醫院

印半天專門
優秀品の証明
草野染工場
領受牌金
電話三四八番
警城平町

泌尿婦人科皮梅毒科
外科 阿部醫院
平町宇新川町電話六一五番



定部金貳錢
一ヶ月卅錢
三ヶ月九錢
半年一圓五錢
一年三圓

廣告五錢
一行五錢
一行十錢
一行二十錢

休刊日
日曜大祭
祝日
日曜

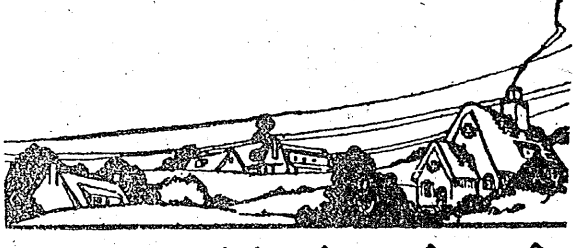
印刷所
常盤毎日新聞社
電話六三〇番

日刊
發行所
川崎文治
本社下町番地(電話六三〇番)
印刷所
常盤毎日新聞社

刊夕日六月一

常識論壇
智識階級の無氣力
太田秀穂

(一)
我等の尊敬する後藤子爵
は昨年四月來政治の倫理化
を問題として提唱せられ居
り。現實政治があまりに
醜惡なりとは新聞雑誌の述
ぶるところにして又一般社
會に於ても認め居るところ
政府は會議毎に綱紀振肅を
訓令し政黨も亦政治一新を
力説して居れるが如し。而
して教育家、宗教家、思想
家、社會事業家の如き何れ
も口を揃へて議員の腐敗墮



平の山の手の稱ある胡摩澤の高台
縣社八幡宮裏手の參千餘坪の土地
をお貸しします。

◇春うららかに夏は新緑滴る郊外住
宅。秋色たゞよい冬暖たかな郊外
住宅。小供の健康によい郊外住宅
◇附近の重なる建物——八幡宮。中
學校。裁判所。小學校。女學校。
◇水道電氣の取附容易
◇御希望の方は左記へ御來訪下さい

四丁目
百澤商店
電話二二四番
電話一二番

腸胃 専門 内科
梅毒 専門 婦人病
院病村松
電話七〇一

外科 一般
耳鼻咽喉科
女性病科
×光線科
赤心堂病院
田町 電話四七五番

看護婦派出
の求めに應ず
平町南町
平看護婦會
電話三〇七番

落を批難し居れども實際の
効果如何と顧みれば相變ら
ず政治の空氣は濁濁し居る
ものの如く徳教と政治とは
何等關係なきもの、如し、
斯かる際に當り後藤子爵の
如き權力あり資産あり見識
經驗に富める有力者が別に
何等求むるところなく眞剣
に政治は正義なる旨を唱導
することは必ずや相應の反
響を來すべしと信するなり
而して讀書研究を旨とする
教授、學生の如きも活潑な
る意氣を回復し來るべく神
經麻痺の政治家と雖も多少
反省するところあるべし斯
かる意味合に於て予は後藤
子爵の奮起に對して多大の

敬意を表せんとするものな
り、然しながら政治の倫理
化なる題目の如きは何も新
らしきことにてはなく實は
往時より事變ある毎に高調
せられたるものなり、乃ち
孔夫子の如きは専ら政治の
倫理化を主張し如何にもし
て時代の頹敗を防がんとし
東奔西走自己の手腕を試み
んとせしも各地の王公何れ
も孔夫子の説を以て迂遠に
して事情に適切ならずとし
て之を用ゐざりしかば孔子
は止むなく退いて弟子を教
へ書を著はし以て世道人心
を次第に改めんとしたり

(つづく)

第二十六期 貸借対照表

資本金	500,000.00
諸積立金	3,370,000.00
社員職工積立金	1,350,000.00
借入金	5,680,000.00
借入金	4,000,000.00
前期繰入金	2,660,000.00
当期利益金	1,670,000.00
合計	17,980,000.00

未拂込株金	3,370,000.00
土地建物	7,450,000.00
機械	1,750,000.00
配電線路及器具	1,600,000.00
家具並什器	5,050,000.00
倉庫	9,580,000.00
假掛金	1,350,000.00
未収入金	1,000,000.00
有價証券	1,000,000.00
未経過保険料	5,340,000.00
預け金及金銀	2,750,000.00
合計	57,900,000.00

大正十五年十一月卅日
取締役社長 四倉電氣株式會社
新妻盛

黄金の波が...

間近く押し寄せる

石城郡内の各炭礦が...

滅ツ法に活氣付く

石城郡地方の經濟界に大波動を興へる炭礦界の大正十五年度は實に存廢を左右する程苦境の一ヶ年であつたが更新の昭和二年以後は各種の方面から洞察して必ず一陽來復幾分活氣を呈すべし見られ殊に近來石炭の輸出が非常に増加しなほます増加の傾向にあり漸次炭礦を好況に導く最大の理由ともなるので常磐炭礦界も近くは再び彼の黄金時代が到來するものと思はれると消息通は話してゐた

いたち捕り

狩獲法違反で平署の取調へ

石城郡飯野村大字南白土江尻新太郎(三)は去月中旬からいたちを捕つていたを捕獲してゐた事平署に發覺され狩獲法違反で平署の取調をうけてゐる

米穀に對する

融資方法改善

結構な事だ

安島所長語る

小寒の入り

餘り寒くない

本六日の午後四時四十分から小寒に入るが、小寒はむかう十六日間それがあけると大寒に入るのだが小寒中の天候について小名濱測候所の話によると本年の小寒入りは案外におだやかで現在は千島方面に七六四ミリを示した微弱な低氣壓

刑事の弟だ

通行人を殴る

俺れは

石城郡飯野村大字上高久大和田義光(三)は四日午後七時半ころ同郡神谷村字鎌田地内國道に於て飲酒泥酔し

水不足の難から解放

城山方が大喜び

平町水道部では城山に配水計畫を立て豫て水道路敷設工事中のことは屢報の通りだが舊臘二十五日全く工畢終了を告げたので翌二十六日配水試験の結果成績頗る良好なので直に一齊配水を開始したが城山方もこの水道路完成によつて住宅地として一層發展を來すこと

血塗れ喧嘩

些細の事から

石城郡赤井村大字鹽田發電所工事場望月飯場内土工藤田末吉(三)は二日午前十一時半ころ同郡内郷村大字御厩木宿田村屋で飲酒泥酔の上同家に止宿中の平町彌宣町土工阿部金作と些細のことから爭論を始め矢庭に戸外にあつた唐鍬の柄を取つて阿部の頭部に一撃を加へたので阿部はあけに染ま

謹告

諒闇中に付き年始の禮を欠きました、ただ今年も讀者諸君の爲めに「強く正しく」働く事を契つて置きます

昭和二年一月六日
社長 川崎文治
理事 鈴木實
營業部 緑川松太郎
主任 外従業員一同



家庭欄

正月の食中毒

暮れからお正月冬中に亘つては多く肉食しがちなもので、又肉類計りでないにしても濃厚な混食が歡迎されます従つて中毒と云

常磐炭礦坑夫の聯合組合を創立

來月廿日發會式舉行

日本坑夫組合では常磐各炭礦に支部を設け各支部共非常な好成績をあげてゐるが今回いよいよ各支部の聯合會を組織すべく兩度に亘り準備會を開きその結果來る二月二十日平町並びに湯本町の二ヶ所において創立發會式をかね労働問題大演說會を開く計畫で目下田村本部宣傳員その他奔走中だがこれによつて常磐各炭礦支部は完全に基礎固く飽くまで紳士的に労働問題の解

長橋青年會

幹部を改選

平町長橋青年分團にては去る一日午後一時より尼子亭に於て總會を開き幹部改選の結果當選者左記の如くである

看護婦表彰

安島村長より

平町南町清野看護婦會看護婦矢吹モヨ子は石城郡山田村傳染病舎に勤務し精勵した爲め同村長安島重三郎氏より舊臘廿八日附左記の表彰状を贈られた

女房の行倒れ

飢に寒さに

名古屋市生れ金太郎妻白田とく(三)は三日午後平町字四丁目裏農工銀行横道路にて病氣のため歩行困難となり凍死せんとしてゐたのを警邏中の平署員に發見行路

平町人事

出生
△正月町 渡邊忠雄氏次女美奈子
△田町一七 大塚新松氏長女アイ子
婚姻
△田町三 萩野信真氏(三五)石城郡小名町小野マサ(三三)
△佐賀縣松島郡橋村 松本鬼(三二)材木町五五 鈴木トク(二七)

募集

文藝其他投稿を募集します
病者として町役場に引渡し隔離病舎に收容保護中だがとくは數年前から家出行衛不明となつた夫を探すべく

△横堀小路三三 小林源太郎(五五)
△長橋町一六 江川アイ子(三三)